

ねがいがホントウになる

高教組から皆さんへ贈るメッセージ



全国から長崎に集まった教職員（教職員平和のつどい 2011）

長崎高教組

<http://nagasaki-kokyoso.org>

ねがいガホントウになる 長崎高教組



「公費でどこの学校にもクーラーをつけてほしい」
「部活動手当を実態に則してもう少し増やしてほしい」
「公平な人事をしてほしい」などの願いがあると、

これらを前進させるには…



運動と財政の両面から支え
つながりあう組合が必要に
なる



休職してもっぱら組合の仕
事に従事する人(専従役員)
を置くことができ、教育や
社会の状況を分析して、情
報を伝え、とりくみを練る
ことができる



職場で頑張る組合員がいる
から実態がわかりアンケート
トや署名が集まる



県教委等と交渉して改善を
図ることができる

みんなで力を合わせて
少しずつ力を出し合って
運動をすることが
大切です

長崎高教組に加入して、
一緒に頑張りましょう。

長崎県高等学校教職員組合
〒 850-0013 長崎市 中川 2 丁目 2-5
Tel 095-827-5882
<http://nagasaki-kokyoso.org>
ようこそ 今日こそ 高教組

先輩教師の声

教育現場のことを本当にわかるのは、政治家でも役人でもなく、私たち教職員だけだと思います。県や文科省と交渉が出来る団体は私たちだけです。政治に振り回されている今の教育に歯止めを掛けるため、教職員の団結が必要です。皆さんの加入をお待ちしております。

今日の前にいるほとんどの生徒が将来労働者になります。私達も教育労働者です。しかし、教職員にはその意識がだんだん足りなくなってきたように思います。私達が労働者意識を持たずに教壇に立って、将来の労働者を育てられるでしょうか？

組合は組合員のためだけに県と交渉しているのではなく、未組合員も含めた全教職員のために交渉しています。これまで多くの権利(賃金や手当、休暇など)を交渉で勝ち取ってきました。組合に入らなくてもその恩恵は受けられます。恩恵を受けるだけと言うのは私は心苦しくてなりません。みなさんはどのように考えますか。

高総体で学校の団結を呼びかけたり、体育祭や文化祭でクラスの団結を呼びかける私たちが団結しなくてどうしてその声が生徒にとどくのでしょうか。「本当の仲間」としての加入もお待ちしております。

ケータイに代表される電子機器は、この10年ほどで生まれた新語とよく似ています。曰く「格差社会、学級崩壊、学校・学力格差、勝ち組負け組」など。どれも現代社会を射抜き、人をつなげるよりもバラバラにしていく働きしかないように思います。

コミュニケーションが教育の要。弱音も本音も吐き出し、困難は分割し、お互いに助け合うことが今こそ必要です。一緒に楽しい学校(楽校)を作りましょう。

小さな舟もお互いつなぐと大波にも耐える。それが組合です。

私たちは、ひとりでも多くの方に組合に関心を持ってもらいたいと思っています。高教組について分からないこと、困ったことがあればいつでも周りの組合員にご相談ください。

* 加入は簡単です。周りにいる組合員に「入ります」と伝えるところから始まります。どうかよろしく願います。 info@nagasaki-kokyoso.org へ

先輩教師の声(続き)

農業者は農協へ、漁業者は漁協へ等々、容貌を反映する組織があります。高等学校の教職員の要望を反映するのが高教組です。

2012年3月ころ、原子力政策の正当性を「説明」するリーフレットが文科省から大量に配布されました。無神経なトップダウンに対し、現場の実情を反映させていくのが組合です。一人では要求しにくいことも組合が要求しますよ。



県下教職員の署名を県教育長に届けます

子どもたちに本当の「まなびの場」を提供したいと願うのが教員の本心です。本来の願いを実現させるためにも、あなたの力を高教組へ。

組合は安心して相談できる場所です。県内だけでなく、県外の先生とも接する機会も増えます。是非加入して一緒に活動しましょう。

今こそ本音を話せる仲間が必要だと思います。つながりませんか。私たちと。

他の学校の先生、他県の学校の先生と語り合えるのは組合です。みなさんもいかがですか。

新任1年目に「組合にはみんな入ることになっているからね」と言われたのが加入のきっかけです。そのときから正直面倒だと何度も思いながらも、50代の今まで続けているの

は、若い頃に伺った賃金闘争の話のおかげでしょうか。働きやすい環境や条件で働けるのは、先輩方が頑張ってくれたからだと思うと抜けたくても抜けられません。加えて言うと、いろいろなことを教えてもらえる場でもあるし、入って損はなしと思います。数は力です。入ってみませんか。

困ったときに支え合う仲間がいるのが組合です。一人でも多くの加入が支え合う原動力になります。是非加入してください。

組合で一番好きな活動は「教研活動」です。教研とは教育研究集会のことで、教科や生徒指導など教職員が自主的に自分たちの実践を持ち寄って発表し、学習する機会です。自主的だからこそ、トップダウンの研修より楽しいです。

私たち公務員労働者は多くの困難に直面しています。そのひとつは人事院の改革です。これまで私たちの給与などは人事院勧告によって進められてきました。この人事院勧告が国会で無視されています。そしていずれはなくなります。その時は私たちの代表者と人事院に代わる政府側の機関とで直接交渉することになるでしょう。したがって私たちの代表が交渉するためにも私たちの団結が必要です。ぜひ長崎高教組に加入してください。



教育研究集会ではいろんな方の講演を聞くことができ、視野が広がります。また自主的な研修の場でもあります。

長崎高教組の教研は以下の3つが中心です

夏季教研	8月	領域別(生徒指導、生徒会など)
県教研	11月	教科別
冬季教研	2月	市民の方との共同の学習会

組合員になったら

1. 何を発言するにも組合と仲間の支援があったからこそ、強気で発言でき、要求も思いっきり言え、存分に闘えた。
2. いろいろな仲間が増えたこと、他労組、全国の仲間に出会えた。
3. いろいろな考え方、見方ができるようになった。(学習研修活動、教研活動、中央地方を問わずあらゆる場で活躍している各種の講師の講話、政治問題の解析など)
4. 平和と暮らし、人権などについて考える機会が増えた。
5. 弱いものの立場を考えることが出来た。
6. 国内政治状況、国際政治の動向、宗教、民族、歴史などに興味を持てた。
7. 民主的とはどういうことかが解った。
8. 地域社会活動、関係団体との協調、共同行動ができた。
9. 管理職の暴走にストップをかけられた。
10. 要求などを政治家に直接申し入れを行うことができた。
11. 組合の会議はいつも楽しかった。
何はともあれ組合に入ってみませんか？

組合の魅力や加入の意義はたくさんありますが、私は、広い視野を持って、異なる視点で物事を見るようになれる点をあげたいと思います。労働組合の意義として企業活動のチェック機能をあげる識者が数多くいます。これは、組合が経営者などと異なる視点で企業活動を見ることが出来るからです。

異なる視点で物事を見ることの大切さという点では、原発に関する「九電やらせメール」の問題を考えればわかりやすいと思います。この問題が発覚したのは、やらせ指示のメールを受けた人が「これは問題だ」と思って報道機関等に知らせたからです。一方で、指示どおりに「やらせメール」を送った人もたくさんいます。その違いは、「やらせメール」について、どれだけ九電の発信者と別の視点で見ることができたかということではないでしょうか。このことは、学校現場にも引き写すことができます。文科省や県教委以外の視点で学校の現状や教育のあり方を考えるようになることが必要だと思いませんか？

長崎高教組 ホームページへ

もっと教科の勉強したい！

私たちの権利どうなってるの？

組合のことを知りたい!!

今すぐ **長崎高教組** 検索

ホームページ
情報を伝える

ブログ
活動が見える

Face Book
仲間とつながる

<http://nagasaki-kokyoso.org>

(nagasaki と kokyoso の間はハイフオンです)

アクセスお待ちしております

メールはこちらまで info@nagasaki-kokyoso.org